いつの日？解決へ

十五年目の役場敷地！

ことしは町村合併の十五週年にあたり足寄町ではこの秋にその記念式典をあげようとしているのに、その町村合併でできた役場庁舎の敷地問題が未だに目鼻がつかないという現状に対して、理事者や議会はいったいなにやっているのか―果して解決する能力？がある のか―といった声も出ています。

妨害しているのは誰か

なにしろ昭和三十一年の川上町長のときに、土地所有者の高橋安蔵氏（当時の町議会議長）の希望によって町有林との交換を議決して建てたのに、このあとの高橋町長の二期、そして現小林町長の任期があと十カ月と迫ったのに依然として解決のメドがつかないのだから困った事態です。

町としては議決どおりに高橋氏とのあいだでそれぞれの土地の所有権移転登記を済選するやテノヒラを返したように、町有林との交換はとりやめて役場敷地（一千五百坪）を三千万円で買ってほしいといい出し、これを町がことわるや交換の申込は無効だから役場庁舎をとり去って土地を明け渡せとの民事調停を帯広簡易裁判所にひきおこしたものです。

おどろいた町議会では調査特委員会（委員長斉藤昇氏）を設けて改めて敷地問題を調査した結果、交換の議決は有効であることを再確認するとともに、相手は町民でもあるし円満に話し合いで解決するようにとの結論を出しました。

一方、高橋氏の方では裁判所で議決無効、土地明け渡しの線は引っこめて低姿勢にかわったものの、あくまでも交換ではなくなんとか金銭によっての解決を主張してエンエンとこんにちまで調停がつづいています。

問題は八百万円の支出

昭和三十一年当時の問題の交換議決に参画した人々は、いまでは小林町長をはじめ斉藤昇、多田梅松、大原茂、吉田吉之助、矢野寛一氏ら五議員だけとなっていますが、当時は高橋氏自身が議長席にあって採決した条件であり、まさかこんな事態になるとは想像もできなかったことだとしても現実には十五年間たっても昨年は一、文換の町有林（百一町歩余）は町が責任をもつ一千五百万円で処分する二、役場敷地の賃料相当分として町が八百万円を支払うという案が示されて、町議会も不承々々ながら解決のためにこれを了承したものです。

ところが高橋氏はこれでも足りないのか、この金銭授受にともなう所得税分も町でなんとかしてほしいとなってこの調停案がゆきずりとなってしまいました。

町としては脱税に協力することにはばかず、調停はそのままとなっていましたが、高橋氏の方ではその後札幌国税局や池田税務署などと折衝した結果、最近になって過去にさかのぼって分け課税されないとの摘用で心配するほどのことはないということで、調停を再開するもようとなっています。

したがって再度、町有林の一千五百万円と賃料の八百万円の問題が登場してくることは問題はないとしても八百万円の賃料相当額を支払うことには疑義がありましょう。

町と高橋氏とのあいだでおこなった交換の為は、たとえ移転登記はなされていなくても民法上は交換が成立していて、そこには貸借の関係はないのに賃料として公金を支出することは違法支出ではないかということです。

町議会がマアマア主義の円満策で支出を議決したとしても、町民の一人からでも異議が出た場合は支出を執行した町長以役の責任問題として発展するおそれがあるかもしれません。

土田商工観光課長に山本議会事務局長を起用

足寄町では商工観光課の新設にともなって一日付で議会事務局長の土田三郎氏を初代課長に発令、議会事務局長には総務課管財係長の山本豊吉氏を出向させました。

商工観光課はさしあたり土田課長の商工労働係長兼務、星観光係長、明河主事補の三名でスタートして近く二名を補充して五名の陣容となりますが、過疎化に対処しての商工振興策、観光開発、労働対策に力を入れてゆくことになります。

プロレスやサーカス　八月に足寄へ

八月の足寄町へプロレスやサーカスの一行が訪れてファンを楽しませることになりそう―。

プロレスの力はHBCの毎週水曜日夜のプラウン管で大あばれの国際プロレスのストロング小林、ザンダー杉山、グレート草津らと外人レスラーの一行で、商工会の主催で八月十七日午後四時から桐雪印工場跡地で、雨天の場合でも二千五百人収容の大テントを用意して開催、料金は二千円、中学生一千円で、純益は社会福祉協議会へ寄附することにしています。

この一行は北見市で興行のあと帯広市ではやらずに中間の足寄としたもので、近隣町村からかなりのファンが入場するものとみられています。

一方、商工会に話しをもちこまれているサーカスは日本の三大サーカスのひとつにランクされているキグレサーカスで、八月二十九日から九月五日までの八日間を希望しており、商工会では近く役員会にかけて受け入れる協議します。

町としては脱税に協力することになります。

一千五百万円については交換した山の地積や材積を専門家が評価の価格なのでこの価格で町が引きとることになります。

商工観光祭　もり沢山の催し

足寄町の商工観光祭は十四、五の両日盛大におこなわれますが、十四日は雌阿寒岳の山開きの現地で、HBCラジオの「こんにちはJBです」の公開録音とキャンプファイヤーなど、十五日は旧雪印工場跡地で帯広動物園からの移動動物園に怪獣テン撮影会、HBCによる「リズムベージェント」「民謡お国自慢」の公開録音など、もり沢山の催しがあります。

有限会社 協栄建設
小林直道　佐藤孝一
中山源吾　山上輝夫

不動産についての御相談は
調査 売買 あっせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
間和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T三四五

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
世界の ビクター
―あらゆる電気具器―
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話142番

家具と新建材販売！
既製家具から
注文建具、サッシ
新築・改築に御相談下さい！
桜井建具店
足寄町北5区　T 362
建具製作部工場　西5区